

領域	ねらい	支援内容	具体例	放デイでできそうな活動(サイト)	アプリ
健康・生活	健康状態の維持・改善	・健康な心と体を自ら健康で安全な生活を作り出す事を支援する ・健康状態の常なるチェックと必要な対応を行う。 ・意思表示が困難な子どもも障害の特性および発達過程・特性等に配慮し、地位sなサインから心身の異変に気付けるよう、きめ細やかな観察を行う	・定期的な心身の把握を行う（毎回体温計測・気分把握） ・利用時に、検温や口頭での質問により、健康状態の確認を行う ・自らの体調について、意識づけを行い、健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す事を支援する ・ラジオ体操などの基礎運動を取り入れ、体力の維持及び運動能力の向上を支援する。	・調理やお菓子作りなどを通して食育	・登所時の手順を守る
	生活リズムや生活習慣の形成	・睡眠、食事、排泄程度の基本的な生活リズムを身につけられるように支援する ・健康な生活の基本となる食を食む力の育成に努めると共に、楽しく食事が出来るよう、口腔内機能・感覚等に配慮しながら、咀嚼・嚥下、姿勢保持、自動具等に関する支援を行う ・病気の予防や安全への配慮を行う	・生活リズムの安定（定期的かつ定時に通所） ・お菓子や料理作りを通して、食育を行う	・トイレトレーニング ・時間に応じた行動の切替え ・構造化を意識した掲示物、子供への指示 ・来所時、毎回体温測定や口頭での質問により、健康状態を確認する	
	基本的な生活スキルの獲得	・リハビリテーションの実施：日常生活や社会生活を営めるよう、それぞれの子どもに選んだ身体的、精神的、社会的訓練を行う ・基本的な生活スキルの獲得：身の周りを清潔にし、食事、衣類の着脱、排泄に必要な基本的技能を獲得できるように支援する ・構造化により生活環境を整える：生活の中で、様々な遊びを通して学習できる環境を整える。また、障害の特性に配慮し、時間や空間を本人にわかりやすく構造化する	・構造化を意識した部屋のレイアウト・掲示・支援（視覚的に「何がどこにあるか」「どこで何をするか」を絵などを使い具体的に表示） ・SST、ABAなどによる、身体的、精神的、社会的訓練 ・決められた時間の中で行動できるように支援を行う ・個別活動の中で、整理整頓（片付け）の習慣をつけるための時間を確保する ・身の周りを整理して、効率的な良い生活を送る為に必要な基本的技能を獲得できる支援を行う ・個別活動および集団活動の中で、様々な遊びを通して、全体の状況や流れを学習できるように、環境を整える支援を行う ・身の周りを清潔にし、食事、衣類の着脱、排泄などの生活に必要な基本的技能を獲得できるように支援する	・構造化を意識したレイアウト・掲示・支援 ・作業療法士との作成したプログラムに基づき、SSTプログラムを中心としてリハビリテーションを行う ・おやつ作りを通して、基本的な生活スキルとなる食育を行う ・利用時に検温や口頭での質問により、健康状態の確認を行う	
運動・感覚	姿勢と運動・動作の向上	・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る	・ストレッチ、ラジオ体操、軽い運動 ・バランスボールでの姿勢保持 ・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢の保持や、運動・動作の改善および習得、筋力の維持・強化を図る	・体操やダンス、スポーツなどを通じた運動療育	・感覚過敏な子どもに配慮した環境設定
	姿勢と運動・動作の補助的手段の活用	・姿勢の保持や各種の運動や歩行、歩行遅や車いすによる移動など、様々な補助用具や補助的手段を活用して、これができるように支援する	・音楽に合わせて体を動かす遊びや運動 ・個別活動の中で、椅子や机を用いた支援において、正しい姿勢の習得 ・保持する感覚機器を用いて、状況を把握し易いように、眼鏡や補聴器を安全に効果的に活用できるように、支援を行う	・視覚や聴覚、触覚を刺激するようなゲームやクイズ ・感覚過敏な子どもに配慮した環境設定 ・遊びを通して、日常性に必要な運動機能の維持・向上を図る	
	保持する感覚の総合的な活用	・保持する感覚器官を用いて、状況を把握し易くするよう、眼鏡や補助器具等の各種の補助器具を活用できるように支援する ・感覚や認知の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整などの支援を行う	・感覚過敏用のイヤーマフ配備などの環境設定 ・保持する視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用できるように、遊具や器具を使った遊びを通して支援を行う ・眼鏡を使ったタイミングの感覚やバランスの感覚、ボールを使った体の動かし方や姿勢の力感覚、方向感覚の習得 ・楽しく運動ができるよう、状況（屋内・屋外・広さ・安全の確保）に合わせた道具や方法を用いて支援を行う	・歩行器を使用しながら施設内の移動ができるようにする ・イヤーマフ等を活用し、感覚過敏に配慮した環境設定を行う	
認知・行動	認知の発達と行動の習得	・感覚や認知の活用：視覚、聴覚、感覚などの感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行う ・知覚から行動への認知過程の発達：環境から情報を取得し、そこから必要なメッセージを選択し、行動に繋げるという一連の認知過程の発達を支援する	・天気、気温、日付の把握と確認による、感覚・数の認知形成 ・障害特性に応じた、視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用して、必要な情報を収集しやすいように、色、音、絵や文字、道具を用いて、認知機能の発達を促す支援を行う	・ブロックなどの立体的な構造物を使った創作活動 ・音楽やリズムを使って、五感を刺激する活動 ・ヴィジョントレーニング ・色や形の違うブロックを使って、物を識別する能力の習得を目指す ・ビジョントレーニングにより、視覚情報から行動までの発達を促す ・音楽やリズム遊びの中で五感を促す	・子ども会議
	空間・時間・数などの概念形成の習得	・認知や行動の手がかりとなる概念の形成：物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間・時間などの概念の形成を図る事によって、それを認知や行動の手がかりとして活用できるようにする ・数量、大小、色等の習得：数量、大小、重さ、色の違い等の習得の為の支援を行う	・1日の時間帯別活動を示すタイムテーブルの確認による時間の認知形成 ・粘土・スライムによる物質の変化と感覚の認知形成 ・ブロック遊びによる空間把握の認知形成 ・数量の予測、大小の選択、色の認知など、作品完成までの流れに関する行動や手掛かりとして活用できるようにする ・折り紙や色画用紙を用いて、千羽鶴などの制作を取り入れながら支援する ・色積み木などを用いて特性に合わせた支援をする	・ブロックなどの立体的な構造物を使った創作活動 ・音楽やリズムを使って、五感を刺激する活動 ・ヴィジョントレーニング ・色や形の違うブロックを使って、物を識別する能力の習得を目指す ・ビジョントレーニングにより、視覚情報から行動までの発達を促す ・音楽やリズム遊びの中で五感を促す	
	対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の学習	・認知の偏りへの対応：認知の特性を踏まえ、自分にとって来る情報を適切に処理出来るように支援し、認知の偏りなどの個々の特性に配慮する。また、こだわりや偏食などに対する支援を行う ・行動障害への予防及び対応：感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切な行動への対応の支援を行う	・小集団でのゲームでの適切な行動形成、認知の偏りの配慮 ・感覚、認知の偏りに対するフレミング ・季節の変化への興味などの感覚形成の為の外出・行動 ・集団活動やグループ活動支援の中で、活動内容（環境）から情報を取得しやすいうように、絵やカードやルール表を用いて「見える化」する等、必要なメッセージを自ら選択し、行動に繋げられるよう、一連の認知過程の発達を支援する。 ・認知の特性を踏まえ、絵カードやスケジュール表などを用いて、自分にとって来る情報を適切に処理できるように支援する	・ブロックなどの立体的な構造物を使った創作活動 ・音楽やリズムを使って、五感を刺激する活動 ・ヴィジョントレーニング ・色や形の違うブロックを使って、物を識別する能力の習得を目指す ・ビジョントレーニングにより、視覚情報から行動までの発達を促す ・音楽やリズム遊びの中で五感を促す	
言語・コミュニケーション	言語の形成と活用	・具体的な物事や体験と、言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発話を促す支援を行う	・実際の生活場面を想定したコミュニケーション方法の反復練習を行う ・集団生活の中で、「子ども会議」などを行い、議題に沿った発表の機会を設ける ・「子ども会議」等の場面で、具体的な体験や言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発話を促す支援を行う ・「子ども会議」等の場面で、自分の考えを伝えたり、人の意見を聞き入れて相手の意図を理解する等、人とのコミュニケーション能力の獲得を支援する	・伝言ゲームや早口言葉などを用いたゲーム ・生活の中で起る事柄に対するロールプレイング ・考えを発表したり、スキンシップをプレゼンテーションする	・子ども会議
	言語の受容及び表出	・話し言葉や各種の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行う	・始まるの会で、今日の気分・気持ちをプレゼンテーションして言語表出・受容 ・終わりの会で活動の振り返りと気持ちをプレゼンテーションして言語表出・受容 ・絵を見てその状況を言葉で表現できるように訓練を行う	・伝言ゲームや早口言葉などを用いたゲーム ・生活の中で起る事柄に対するロールプレイング ・考えを発表したり、スキンシップをプレゼンテーションする	
	コミュニケーションの基本的能力の向上	・人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得：個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、共同注視の獲得を含めたコミュニケーション能力の向上の為の支援を行う	・伝言ゲームなどの言葉を使った訓練を実施する	・伝言ゲームや早口言葉などを用いたゲーム ・生活の中で起る事柄に対するロールプレイング ・考えを発表したり、スキンシップをプレゼンテーションする	
	コミュニケーションの基本的能力の向上手段の選択と活用	・指差し・身振り・サインなどの活用：指差し、身ぶり、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるように支援する ・読み書き能力の向上の為の支援：発達障害の子ども等、障害の特性に応じた読み書き能力の向上の為の支援を行う ・コミュニケーション機器の活用：各種の文字・記号・絵カード、機器等のコミュニケーション手段を適切に選択、活用し、環境の理解と意思の伝達ができるように支援する ・手話・展示・音声・文字・触覚・平易な表現等による、多様なコミュニケーション手段を活用し、環境の理解と意思の伝達ができるように支援する	・個別または小集団での障害の特性に応じた読み書き ・ルールなどを絵や絵カードを使って視覚化 ・読み書き支援用テキストやプログラミングなどを用いて、読み書き能力の向上を目指す ・文字カードや歴史カルタ等の教材、知育玩具を用いて、1人1人の能力にあった読み書きの向上を目指す支援を行う ・集団活動や、グループ活動の中で、糸電話や伝言ゲーム等の遊びを通して、意思の伝達が円滑に出来るよう支援する	・伝言ゲームや早口言葉などを用いたゲーム ・生活の中で起る事柄に対するロールプレイング ・考えを発表したり、スキンシップをプレゼンテーションする	
他者との関わり（人間関係）の形成	他者との関わり（人間関係）の形成	・アタッチメント（愛着行動）の形成：人との関係を意識し、身近な人との親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成する為の支援を行う	・アタッチメント形成（面談で自尊心を高める・認める） ・話す、聞く、触れるなどのコミュニケーションを通して、人との関係を築き、身近な人との関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う	・伝言ゲームや早口言葉などを用いたゲーム ・生活の中で起る事柄に対するロールプレイング ・考えを発表したり、スキンシップをプレゼンテーションする	・子ども会議
	自己の理解と行動の調整	・模倣行動の支援：遊びなどを通じて人の動きを模倣する事により、社会性や人間関係の芽生えを支援する	・ママゴトやごっこ遊びを通して、他者との交流を図る ・スタッフは、障害特性を理解し、一人一人に合わせた声掛け支援、行動支援を行い、自分の出来る事と出来ないこと等、自分の行動の特徴を理解して、気持ちや感情の調整が出来るように支援する	・伝言ゲームや早口言葉などを用いたゲーム ・生活の中で起る事柄に対するロールプレイング ・考えを発表したり、スキンシップをプレゼンテーションする	

人間関係・社会性	仲間づくりと集団への参加	感覚運動遊びから象徴遊びへの支援：感覚機能を使った遊びや運動機能を動かせる遊びから、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊びなどの象徴遊びを通じて、徐々に社会性の発達を支援する	・見立て遊び、つもり遊び、ごっこ遊びの組み合わせ ・一人遊び、並行遊び、連合的な遊びの組み合わせ ・役割分担のある遊びなどの共同遊び ・ルールの理解が必要な遊びや集団活動 ・イベント等を通じた地域との交流 ・指導員が介入しながら、集団活動に参加する ・個別活動から集団活動へ進めるよう、一人一人の状況や状態に合わせて、集団活動への参加を促す ・受け入れる集団に対して、相手の気持ちや状況を理解するための話し合いや声掛けを行い、安心して集団へ参加できるようにし、参加する方法の習得を支援する	・他己紹介など、他者を知る為の活動 ・職業訓練や職場体験	
----------	--------------	---	---	---	--